

S D G s 未来都市等の選定結果 及び今後の取組について

2018年度～2024年度SDGs未来都市等選定都市一覽

茶色：2024年度
 灰色：2023年度
 紫色：2022年度
 桃色：2021年度
 橙色：2020年度
 緑色：2019年度
 青色：2018年度

※都道府県が選定されている場合は全域を着色



中国・四国地方

2024年度：1都市（0）
 2023年度：5都市（1）
 2022年度：4都市（1）
 2021年度：2都市（1）
 2020年度：5都市（2）
 2019年度：3都市（1）
 2018年度：5都市（1）

九州・沖縄地方

2024年度：2都市（1）
 2023年度：5都市（1）
 2022年度：5都市（2）
 2021年度：3都市（2）
 2020年度：5都市（1）
 2019年度：6都市（3）
 2018年度：3都市（3）

北陸地方

2024年度：2都市（1）
 2023年度：4都市（3）
 2022年度：4都市（1）
 2021年度：2都市（1）
 2020年度：3都市（1）
 2019年度：5都市（3）
 2018年度：3都市（1）

近畿地方

2024年度：3都市（2）
 2023年度：5都市（1）
 2022年度：4都市（2）
 2021年度：5都市（1）
 2020年度：6都市（3）
 2019年度：6都市（1）
 2018年度：2都市（0）

北海道・東北地方

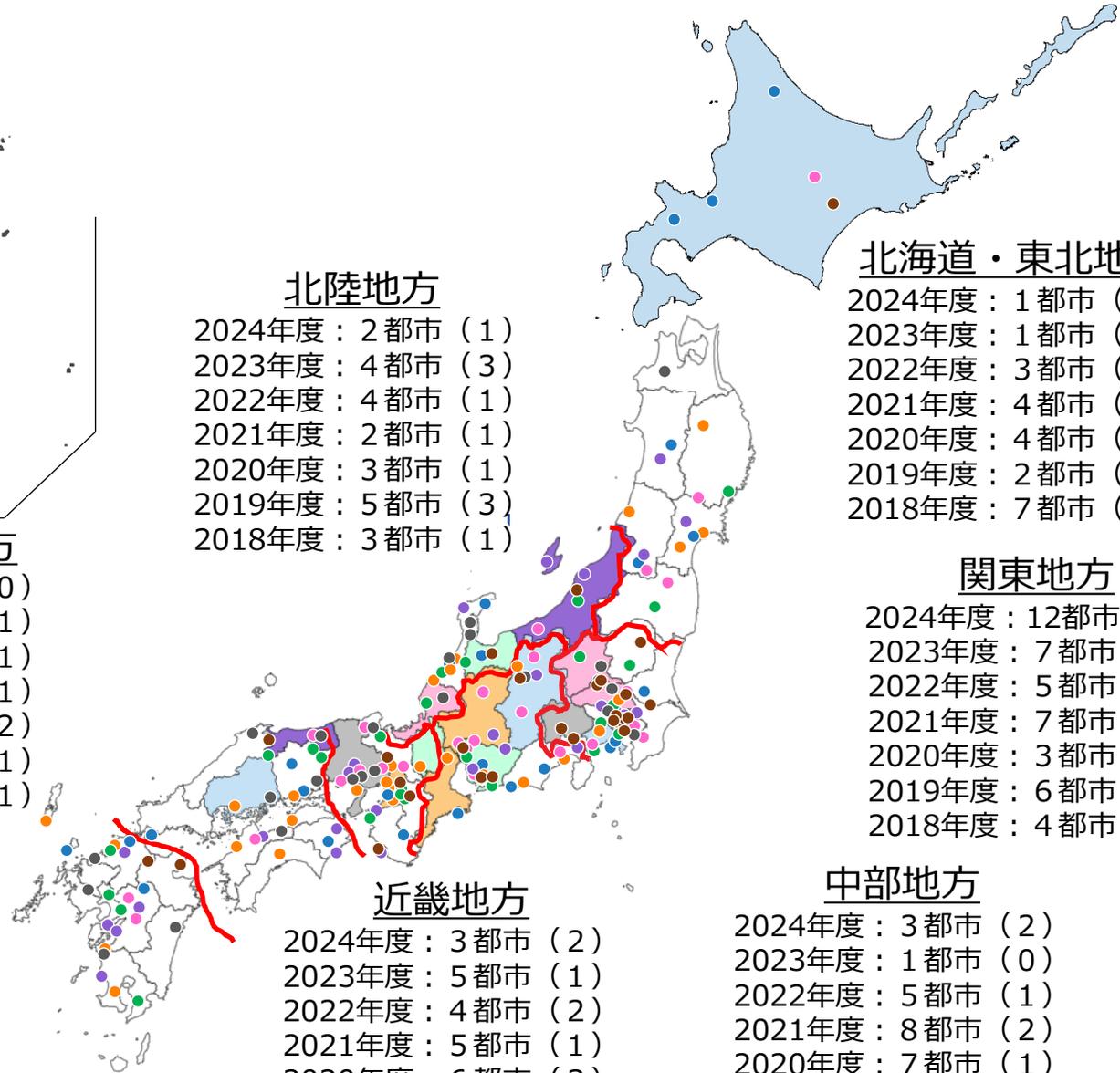
2024年度：1都市（0）
 2023年度：1都市（1）
 2022年度：3都市（1）
 2021年度：4都市（1）
 2020年度：4都市（1）
 2019年度：2都市（1）
 2018年度：7都市（2）

関東地方

2024年度：12都市（4）
 2023年度：7都市（3）
 2022年度：5都市（2）
 2021年度：7都市（2）
 2020年度：3都市（1）
 2019年度：6都市（1）
 2018年度：4都市（3）

中部地方

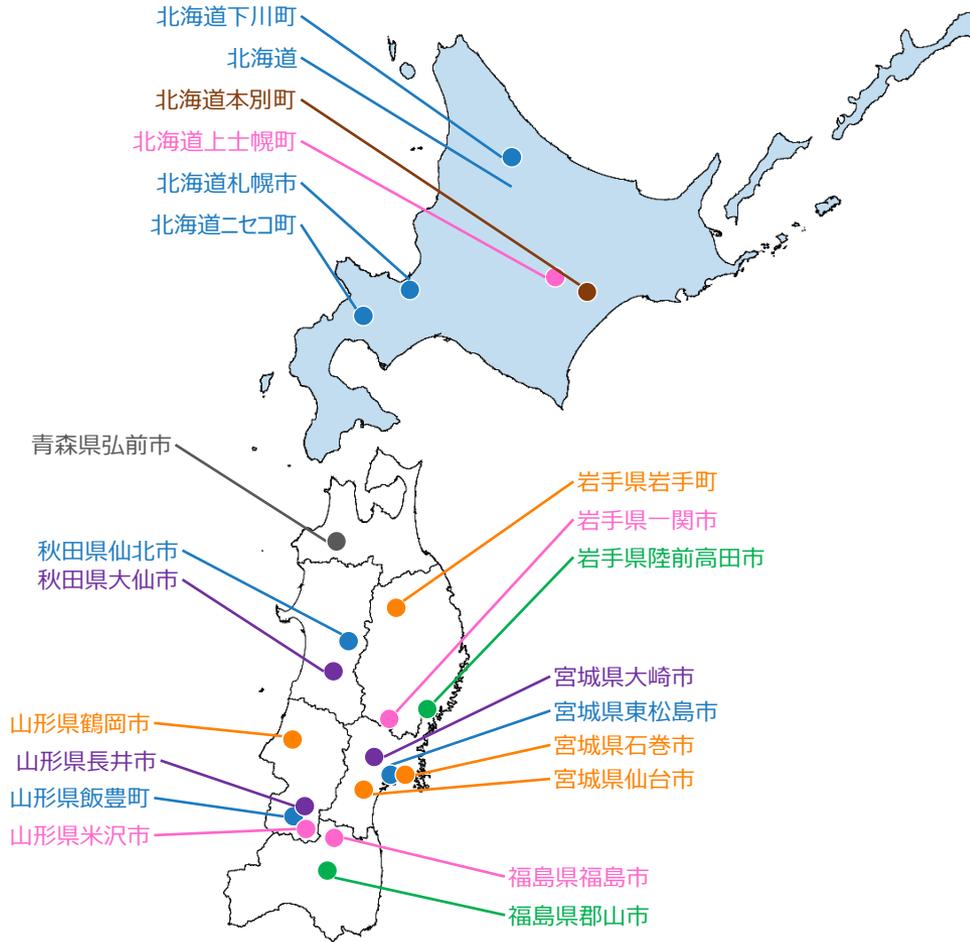
2024年度：3都市（2）
 2023年度：1都市（0）
 2022年度：5都市（1）
 2021年度：8都市（2）
 2020年度：7都市（1）
 2019年度：3都市（0）
 2018年度：5都市（0）



※（）内は自治体SDGsモデル事業都市数

2018年度～2024年度SDGs未来都市等選定都市一覧（北海道・東北）

北海道・東北地方

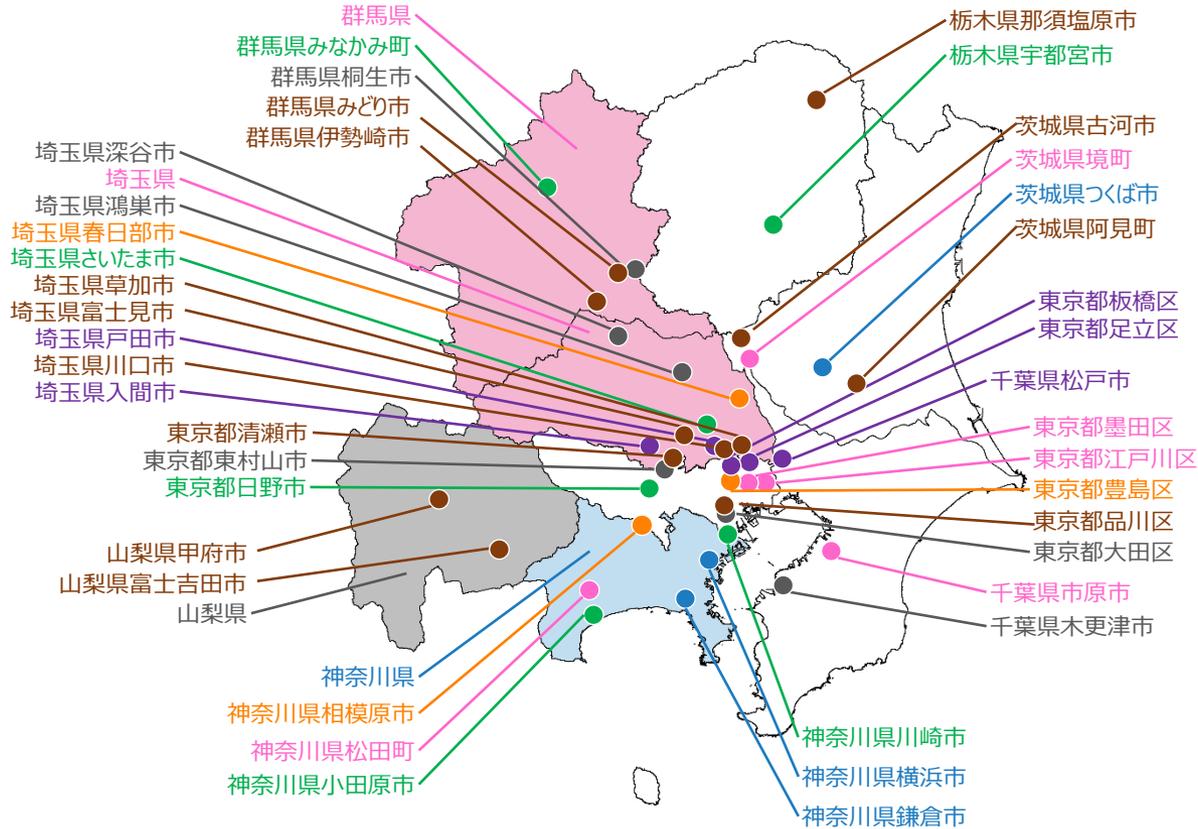


- 茶色：2024年度
- 灰色：2023年度
- 紫色：2022年度
- 桃色：2021年度
- 橙色：2020年度
- 緑色：2019年度
- 青色：2018年度

※都道府県が選定されている場合は全域を着色

2018年度～2024年度SDGs未来都市等選定都市一覧（関東）

関東地方

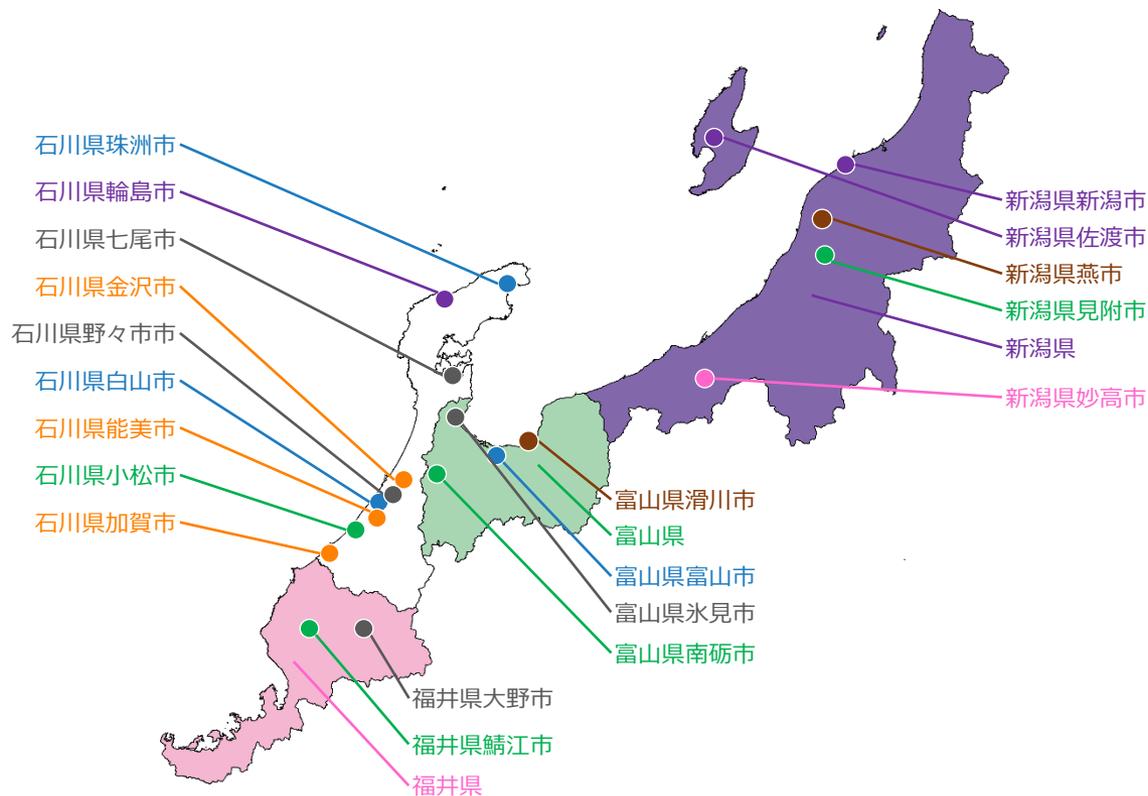


- 茶色：2024年度
- 灰色：2023年度
- 紫色：2022年度
- 桃色：2021年度
- 橙色：2020年度
- 緑色：2019年度
- 青色：2018年度

※都道府県が選定されている場合は全域を着色

2018年度～2024年度SDGs未来都市等選定都市一覽（北陸）

北陸地方

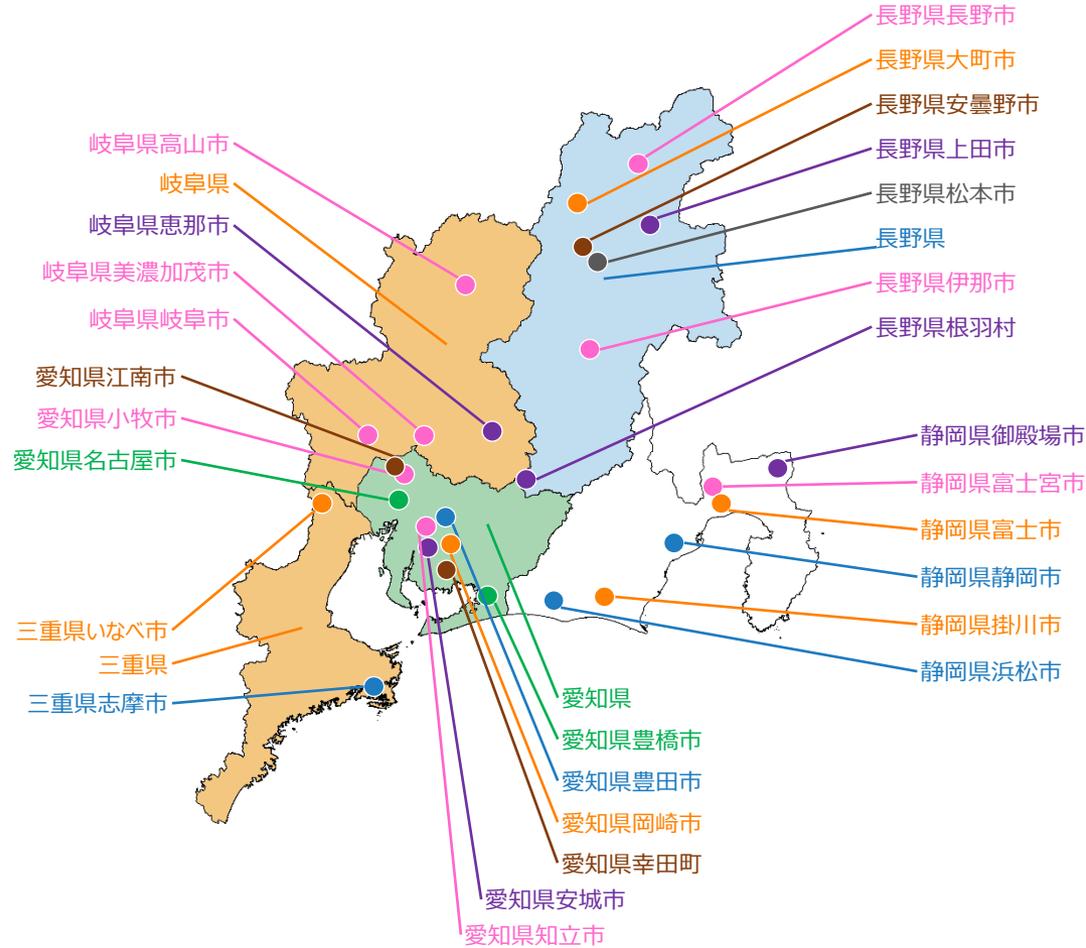


- 茶色：2024年度
- 灰色：2023年度
- 紫色：2022年度
- 桃色：2021年度
- 橙色：2020年度
- 緑色：2019年度
- 青色：2018年度

※都道府県が選定されている場合は全域を着色

2018年度～2024年度SDGs未来都市等選定都市一覽（中部）

中部地方

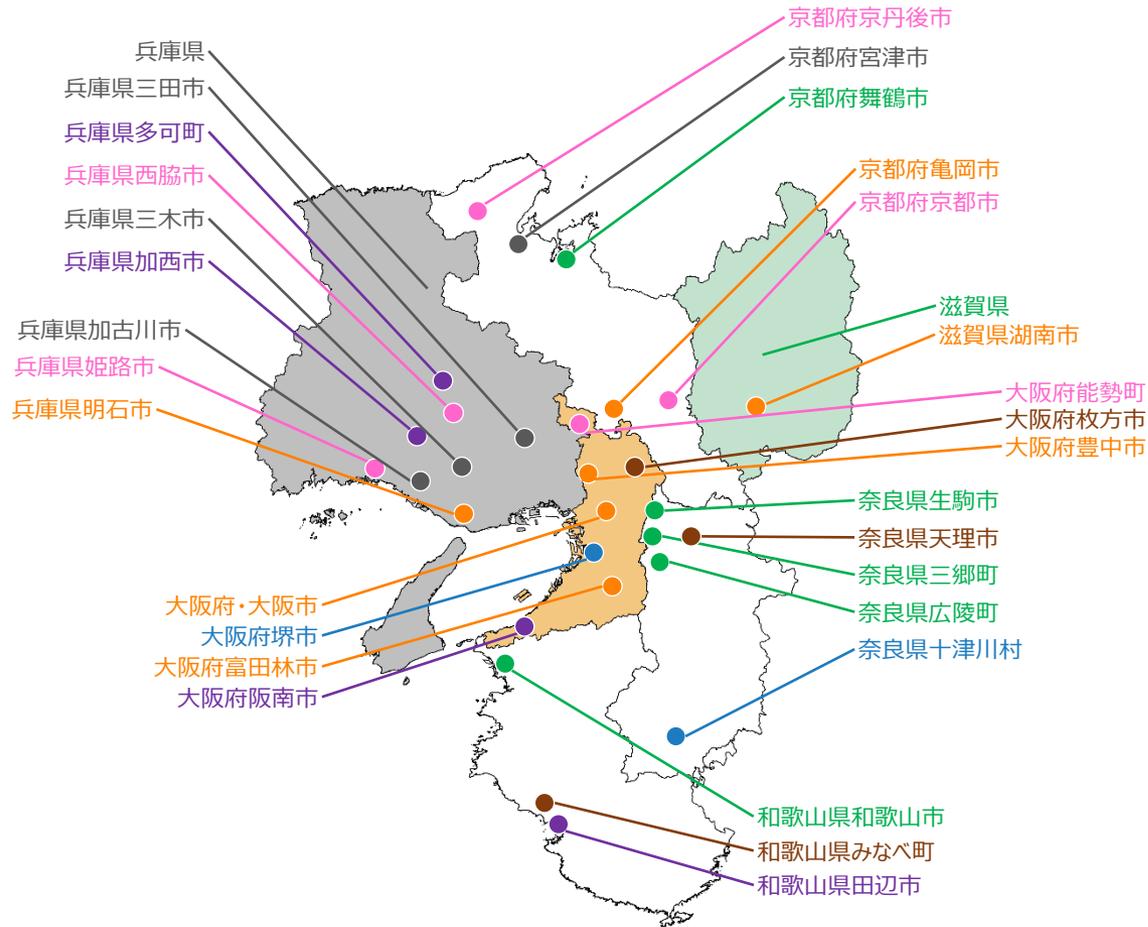


- 茶色：2024年度
- 灰色：2023年度
- 紫色：2022年度
- 桃色：2021年度
- 橙色：2020年度
- 緑色：2019年度
- 青色：2018年度

※都道府県が選定されている場合は全域を着色

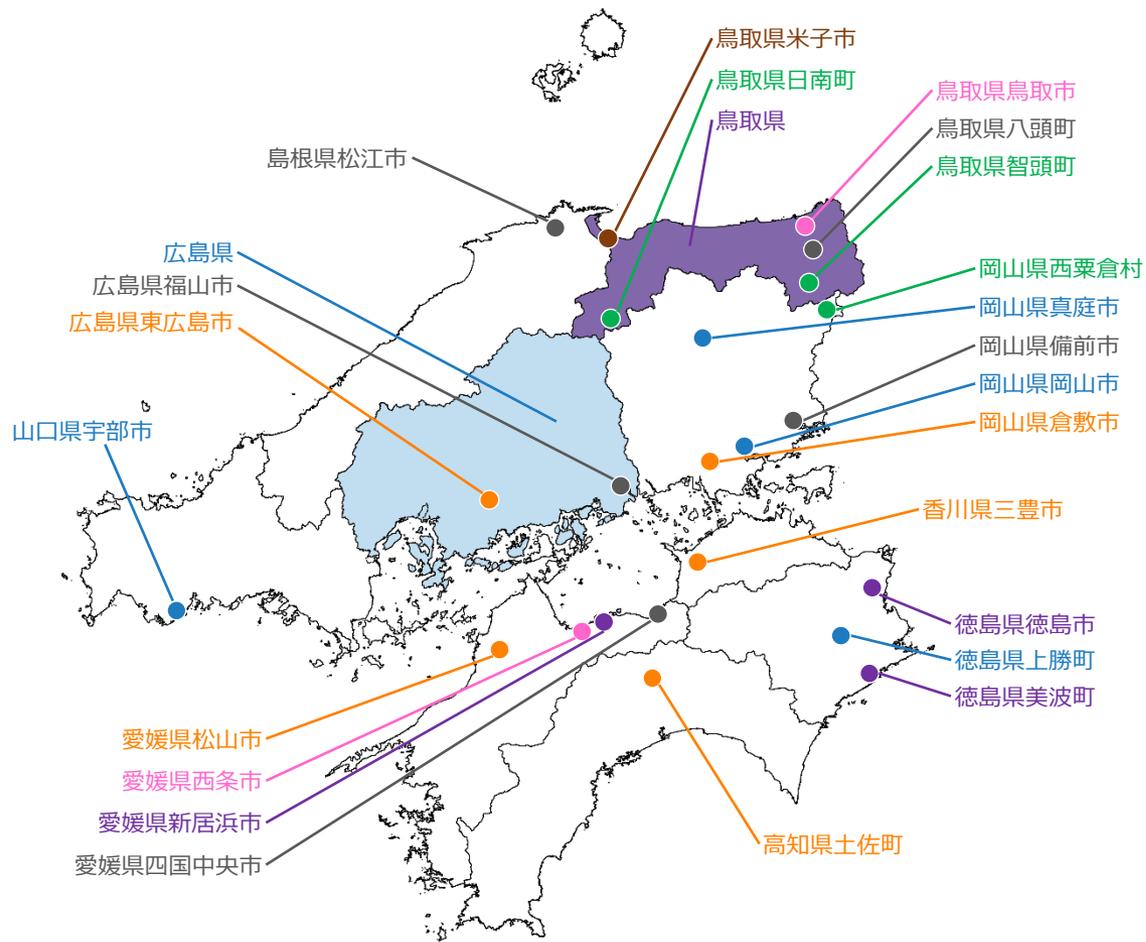
2018年度～2024年度SDGs未来都市等選定都市一覧（近畿）

近畿地方



茶色 : 2024年度
灰色 : 2023年度
紫色 : 2022年度
桃色 : 2021年度
橙色 : 2020年度
緑色 : 2019年度
青色 : 2018年度
※都道府県が選定されている場合は全域を着色

中国・四国地方

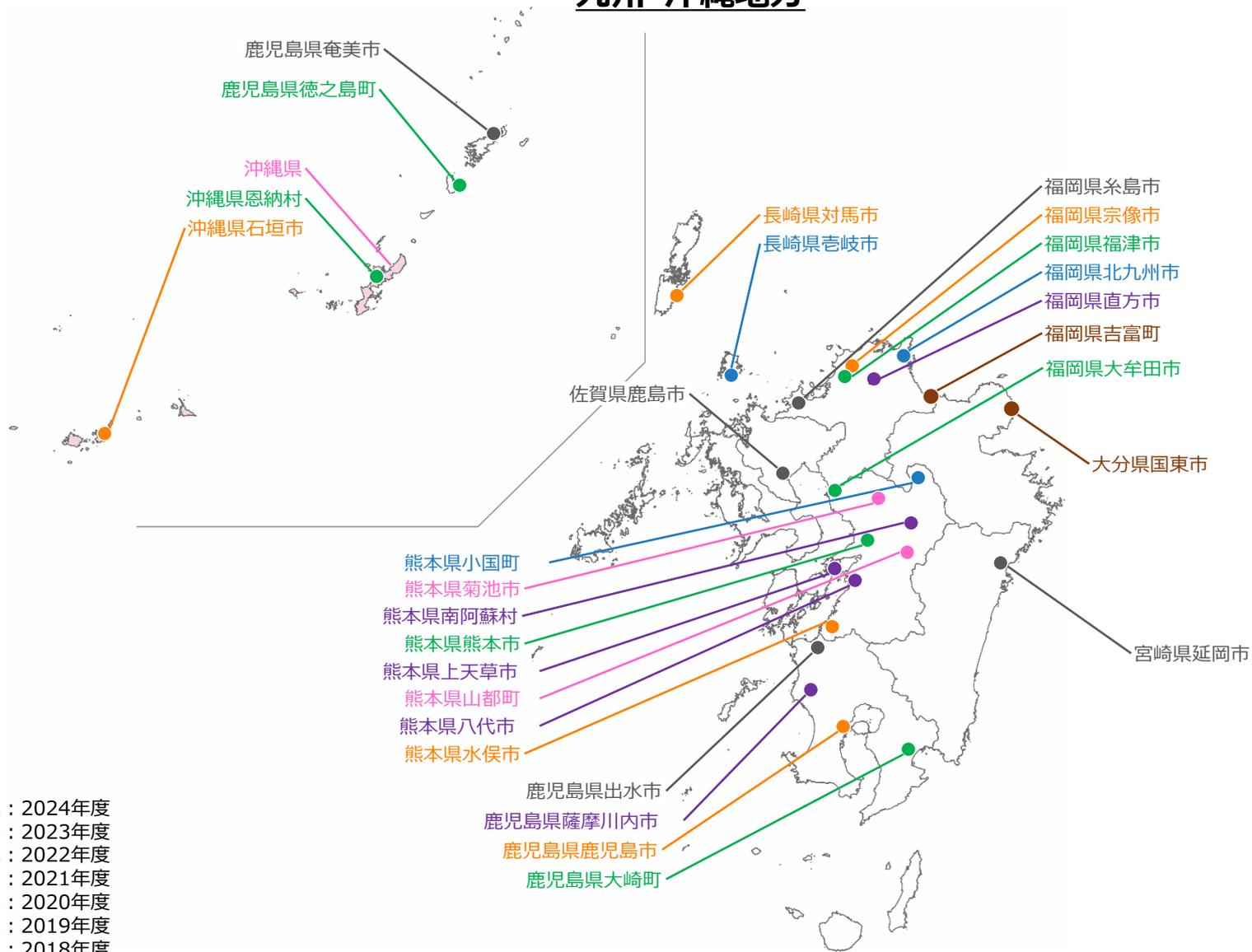


- 茶色：2024年度
- 灰色：2023年度
- 紫色：2022年度
- 桃色：2021年度
- 橙色：2020年度
- 緑色：2019年度
- 青色：2018年度

※都道府県が選定されている場合は全域を着色

2018年度～2024年度SDGs未来都市等選定都市一覧（九州・沖縄）

九州・沖縄地方



茶色：2024年度
 灰色：2023年度
 紫色：2022年度
 桃色：2021年度
 橙色：2020年度
 緑色：2019年度
 青色：2018年度

※都道府県が選定されている場合は全域を着色

SDGs 未来都市等選定都市一覧①

2018年選定 (全29都市)		2019年選定 (全31都市)		2020年選定 (全33都市)		2021年選定 (全31都市)		2022年選定 (全30都市)	
都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名
北海道	★北海道	岩手県	陸前高田市	岩手県	岩手町	北海道	上士幌町	宮城県	大崎市
	札幌市	福島県	郡山市	宮城県	仙台市	岩手県	一関市	秋田県	大仙市
	二七コ町	茨城県	宇都宮市	山形県	石巻市	山形県	米沢市	山形県	長井市
	下川町	群馬県	みなかみ町	山形県	鶴岡市	福島県	福島市	埼玉県	戸田市
宮城県	東松島市	埼玉県	さいたま市	埼玉県	春日部市	茨城県	境町	埼玉県	入間市
秋田県	仙北市	東京都	日野市	東京都	豊島区	群馬県	★群馬県	千葉県	松戸市
山形県	飯豊町	神奈川県	川崎市	神奈川県	相模原市	埼玉県	★埼玉県	東京都	板橋区
茨城県	つくば市		小田原市	石川県	金沢市	千葉県	市原市		足立区
神奈川県	★神奈川県	新潟県	見附市	静岡県	加賀市	東京都	墨田区	新潟県	★新潟県
	横浜市	富山県	★富山県		能美市		江戸川区		新潟市
	鎌倉市	富山県	南砺市		長野県		大町市		神奈川県
富山県	富山市	石川県	小松市	岐阜県	★岐阜県	新潟県	妙高市	石川県	輪島市
石川県	珠洲市	福井県	鯖江市	静岡県	富士市	福井県	★福井県	長野県	上田市
	白山市	愛知県	★愛知県		掛川市	長野県	長野市		根羽村
長野県	★長野県		愛知県	岡崎市	岐阜県		伊那市	岐阜県	恵那市
静岡県	静岡市	三重県	★三重県	三重県		いなべ市	岐阜市	静岡県	御殿場市
	浜松市	滋賀県	★滋賀県			滋賀県	湖南市	高山市	愛知県
愛知県	豊田市	京都府	舞鶴市	滋賀県	湖南市	美濃加茂市	大阪府	阪南市	
三重県	志摩市	奈良県	生駒市	京都府	亀岡市	静岡県	富士宮市	兵庫県	加西市
大阪府	堺市		三郷町	大阪府	★大阪府・大阪市	愛知県	小牧市		多可町
奈良県	十津川村		広陵町		豊中市		豊中市	知立市	和歌山県
岡山県	岡山市	和歌山県	和歌山市	大阪府	富田林市	京都府	京都市	鳥取県	★鳥取県
	真庭市	鳥取県	智頭町		兵庫県		明石市	京丹後市	徳島県
広島県	★広島県		日南町	岡山県	倉敷市	大阪府	能勢町	美波町	
山口県	宇部市	岡山県	西粟倉村	広島県	東広島市	兵庫県	姫路市	愛媛県	新居浜市
徳島県	上勝町	福岡県	大牟田市	香川県	三豊市		鳥取県	西脇市	福岡県
福岡県	北九州市		福岡県	福津市	愛媛県	松山市	鳥取県	鳥取市	熊本県
長崎県	壱岐市	熊本県	熊本市	高知県	土佐町	愛媛県	西条市	上天草市	
熊本県	小国町	鹿児島県	大崎町	福岡県	宗像市	熊本県	菊池市	鹿児島県	薩摩川内市
			徳之島町	長崎県	対馬市		山都町		
沖縄県	恩納村	熊本県	水俣市	長崎県	水俣市	沖縄県	★沖縄県		
		鹿児島県	鹿児島市	鹿儿島県	鹿児島市				
		沖縄県	石垣市	沖縄県	石垣市				

※各年度都道府県・市区町村コード順
 ※黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体
 (新潟県佐渡市の「自治体SDGsモデル事業」選定は2023年度)
 (鹿児島県奄美市の「自治体SDGsモデル事業」選定は2024年度)
 ※★はSDGs未来都市のうち都道府県

累計
 SDGs 未来都市 206都市 (207自治体)
 自治体SDGsモデル事業 70都市

SDGs 未来都市等選定都市一覧②

2023年選定（全28都市）	
都道府県	選定都市名
青森県	弘前市
群馬県	桐生市
埼玉県	鴻巣市
	深谷市
千葉県	木更津市
東京都	大田区
	東村山市
富山県	氷見市
石川県	七尾市
	野々市市
福井県	大野市
山梨県	★山梨県
長野県	松本市
京都府	宮津市
兵庫県	★兵庫県
	加古川市
	三木市
	三田市
鳥取県	八頭町
島根県	松江市
岡山県	備前市
広島県	福山市
愛媛県	四国中央市
福岡県	糸島市
佐賀県	鹿島市
宮崎県	延岡市
鹿児島県	出水市
	奄美市

2024年選定（全24都市）	
都道府県	選定都市名
北海道	本別町
茨城県	古河市
	阿見町
栃木県	那須塩原市
群馬県	伊勢崎市
	みどり市
埼玉県	川口市
	草加市
	富士見市
東京都	品川区
	清瀬市
新潟県	燕市
富山県	滑川市
山梨県	甲府市
	富士吉田市
長野県	安曇野市
愛知県	江南市
	幸田町
大阪府	枚方市
奈良県	天理市
和歌山県	みなべ町
鳥取県	米子市
福岡県	吉富町
大分県	国東市

累計

SDGs 未来都市 206都市 (207自治体)
自治体SDGsモデル事業 70都市

※各年度都道府県・市区町村コード順

※黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体

（新潟県佐渡市の「自治体SDGsモデル事業」選定は2023年度）

（鹿児島県奄美市の「自治体SDGsモデル事業」選定は2024年度）

※★はSDGs未来都市のうち都道府県

2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名: 誰一人取り残さない、誰でも活躍できる多文化共生のまちいせさき

提案者名: 群馬県伊勢崎市

取組内容の概要:

本市における外国人人口は年々増加傾向にあり、特に技能実習や特定技能などの短期滞在の人口が増えている。外国人材は単に労働力としてだけでなく、生活者として地域で受け入れる必要がある。地域住民と外国人がお互いの文化を理解し、共生することで誰もがより生活しやすい持続可能な多文化共生のまちづくりを実現する。



2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名:

自走・自律支援型、魅力向上型で進めるSDGs17色の多様で多彩なまちづくり

提案者名: 埼玉県川口市

取組内容の概要: 多様な働き方や市内企業等のバックアップ、多様性を尊重するインクルーシブな社会づくり、新美術館を核とした文化と芸術の高揚、再生可能エネルギーの導入促進、都市と自然の共生などに向けて、市民や市内企業等の自律的な取組や将来的な自走を引き出しながら魅力向上を図る、SDGs17色全色で進めるまちづくりプロジェクト

経済



課題: 多様な働き方や産業の支援

- 市内企業のリスクリングやデジタル人材育成の支援
- 川口で輝く女性の活躍や創業の支援
- 市内で働き、暮らしたい若年層の就労や定住の応援
- 身近なワーキングスペース等の整備
- 外郭団体の統合と再編
- 中小企業・小規模事業者のイノベーション、新産業創出の支援
- 農業分野における川口ブランドの確立

経済→社会

まちの賑わい創出、
周辺地域の魅力向上

社会→経済

企業のブランド力、信頼性、
魅力や集客力の向上

社会



課題: ①多様性を尊重するインクルーシブな
社会の実現

②文化・芸術の高揚

【課題①解決のための取組】

- 子ども・若者の中に膨らむ孤立や孤独に手を差し伸べる取組の実施
- 重層的支援体制整備事業、みんなの居場所設置支援事業
- 障害者短期入所施設の整備
- 夜間中学での学び直しによる教育機会の提供
- 互いに支え合う誰一人取り残さない多文化共生の推進

【課題②解決のための取組】

- アートや文化に溢れる市民生活の創造
- ウォークアブルな芸術鑑賞・科学体験の推進

資材置場からはじめる 「課題の縮図」解消プロジェクト

- 建築物等の立地規制の合理的緩和
- 地域経済や都市農業との連携
- 安全安心な市民生活や、地球環境への負荷等を考慮した条例の制定
- 資材置場を巡る不法就労等や過積載トラックの問題解決に向けた国・県との連携
- 脱炭素型ライフスタイルや環境教育の推進
- (仮称)川口市公民連携SDGsプラットフォームの活用

課題: ①都市化の進行(緑や自然との共生)

②ゼロカーボンシティの実現

【課題①解決のための取組】

- にぎわいのある都心地域とうるおいのある緑化産業地域の景観の推進
- 都市に残る貴重な緑の保全と、子どもから大人まで楽しめるグリーンスペースの創出
- エコロジカル・ネットワークの形成を通じた生物多様性の保全
- 環境教育の推進

【課題②解決のための取組】

- 脱炭素型ライフスタイルへの転換の支援
- 自治体間連携によるカーボン・オフセットの推進
- 市民や事業者等に対する再生可能エネルギーの導入の支援

経済→環境

緑を伴う居住環境形成による
田園的自然環境の創出・保全

環境



環境→経済

再生可能エネルギーの
地産地消による
地域内の経済循環

環境→社会

環境の未来の担い手増加
市民のWell-being向上

社会→環境

市民や企業の脱炭素や
SDGsを踏まえた行動変容

2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名:だれもが幸せなまちの未来を創るSDGs「子育て」応援プロジェクト

提案者名:埼玉県 草加市

取組内容の概要:まちの持続発展に取り組む「輝く大人」から、子どもが自ら学ぶ機会をつくることで、子どもの「もっと学びたい」という意欲を刺激する。そして、学びを実践する場を「輝く大人」である市民と企業、行政の協力で設け、小さな成功体験を積み重ねながら自己肯定感・自己有用感を高めていく子どもたちを応援する。

経済

経済面の相乗効果①
多様なビジネスモデルの創出とその過程における市民のつながりの拡大・関係人口の増加

社会面の相乗効果①
多様な人材の活躍機会の創出による地域経済の担い手の増加

SOKAジュニアアントレプレナーシップ 育成プロジェクト

- (仮称) ジュニアアントレプレナー教室
子どもが地域課題解決アイデアを実践する仕組み
- 子どもフリーマーケット・マルシェ
実践の経験を重ねる場
- (仮称) SDGsジュニアリーダー
実践を経験した子どもが自分の活動と後輩のサポートに取り組む組織

社会

課題:多様な市民をつなぐハブになる人材の育成

【多様性を受け入れる意識醸成の学び】

- ・障がいがある人もない人も、社会参画できる包摂的なまちづくりの推進
- ・大学等との連携による子どもの学ば力や生きる力を育む新しい学びの場の創出

【地球規模の視点を持つための学び】

- ・大学と市民団体主体の外国籍市民の文化交流イベントの開催
- ・市内NPO法人ボランティアによる外国籍の子ども向け日本語教育の実施

社会面の相乗効果②
多様な人材がつながることによる市民一人ひとりの環境意識の拡大

課題:地域課題を解決するビジネスを創出する人材の育成

【市内の産業を知るための学び】

- ・市内事業所のものづくり体験や都市農業体験、工場見学ツアーによる市内産業への子どもの関心の醸成
- ・大学と商工会議所の連携による地場産業に若い世代が興味を持つ商品の開発

【稼ぐために必要な仕組みを理解する学び】

- ・金融機関との連携による子ども向けワークショップ型金融経済教育
- ・民間企業との連携による「商い」を体験し、仕組みを理解するための学び

経済面の相乗効果②
・環境保護そのものをビジネスにする事業の創出による環境意識の向上

課題:まちの環境や暮らしの持続可能性を高める人材の育成

【ビジネスで環境負荷を低減することを理解する学び】

- ・環境問題に取り組む民間企業による出張授業やリサイクル工場見学の実施
- ・市内中小企業がイノベーションによって創出した環境配慮型事業の体験ワークショップの開催

【環境と暮らしの関係を理解するための学び】

- ・環境問題や消費生活問題について楽しみながら学べるイベントの開催
- ・暮らしを支える生態系サービスの価値を学ぶ生物多様性調査と生息地の維持管理

環境

環境面の相乗効果①
環境配慮型のビジネスの創出による地域経済の活性化

環境面の相乗効果②
環境負荷軽減を活動目的とするコミュニティへの参加者の増加



2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名:子どもとともに創るウェルビーイングシティしながわ

提案者名:東京都品川区

取組内容の概要:安心して子どもを産み育てることができる環境に一層の磨きをかけるとともに、子ども一人ひとりのウェルビーイングの向上に着目し、希望に満ち溢れた次世代を担う人材の育成と将来活躍するフィールドを醸成する。さらに、子どもの柔軟な発想をまちづくりに取り入れることで、常識に捉われない新時代のSDGs推進都市を実現する。

経済

【課題・方向性①】 次世代を担うビジネス人材の育成



- ✓「スチューデント・シティ」による経済活動体験
- ✓将来設計学習「ファイナンス・パーク」の実施
- ✓区内企業と連携したプログラミング教室の開催
- ✓学生向けアントレプレナーシップの醸成

【課題・方向性②】 次世代の担い手が活躍する フィールドの醸成



- ✓五反田バレースタートアップエコシステムの構築

経済面の相乗効果①
新たなソリューションによる社会課題の解決

社会面の相乗効果①
子ども・若者支援によるビジネス人材の増加

しながわSDGsパートナーシッププロジェクト ～「子ども」・「産」・「学」・「官」による共創～

- ① しながわSDGs共創推進プラットフォーム
- ② (仮称)品川区ラボ
- ③ SDGsこども会議
- ④ ウェルビーイング・SDGs推進ファンド

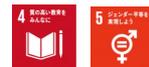
ステークホルダー間の
連携推進

子どもの発想を
まちづくりへ

区の財源に依存せず
民間資金を活用

社会

【課題・方向性①】 子育て世帯のウェルビーイング向上



- ✓子育て世帯の交流機会の充実
- ✓品川版未就園児定期預かり事業の実施
- ✓在宅子育て支援施設の整備

【課題・方向性②】 子どもを守り、誰一人取り残さない 教育の推進



- ✓児童見守りシステム「まもるっち」による子どもの安全確保
- ✓ICTを活用した教育の推進
- ✓ヤングケアラー支援

【課題・方向性③】 子ども・若者の居場所づくり



- ✓「子ども若者応援フリースペース」による居場所づくり
- ✓子ども食堂の支援

【課題・方向性③】 カーボンニュートラルの推進



- ✓クリーンエネルギー化、環境に配慮した建築物の普及
- ✓EV公用車の導入とカーシェア

環境面の相乗効果①
脱炭素の取組における区の助成制度の積極活用

経済面の相乗効果②
区と連携して脱炭素の取組を行う企業の増加

環境面の相乗効果②
食品ロスの減少、子ども食堂の充実

社会面の相乗効果②
子どもの将来のための行動変容

環境

【課題・方向性①】 子どもから始まる環境行動変容



- ✓エコルとごしによる体験型環境学習の推進
- ✓SHINAGAWA“もったいない”プロジェクトによる食品ロス削減

【課題・方向性②】 子どもとともに推進する循環型社会



- ✓リサイクルおよび資源回収の推進
- ✓間伐材利用の促進

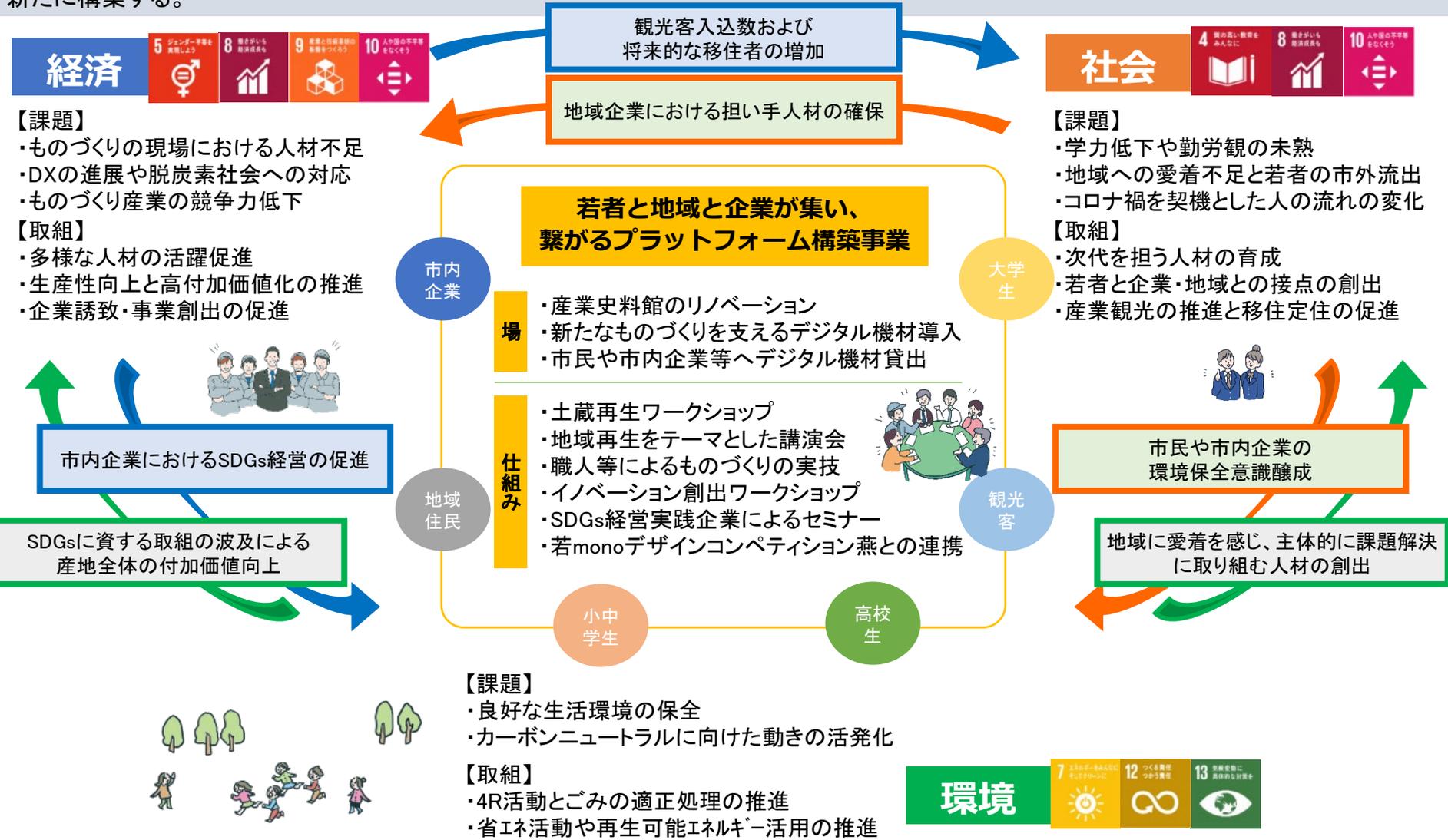
2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名:ものづくりのまち・燕ならではの「シンカ」プロジェクト

提案者名:新潟県燕市

取組内容の概要:

経済・社会・環境の各側面において、多様な人材の活躍促進やDX推進、脱炭素社会への対応といった課題解決に向けた取組を一層進化させるとともに、三側面をつなぐ統合的取組として、ものづくりを核とした、若者・地域・企業が互いに集い、繋がるためのプラットフォームを新たに構築する。



2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要（提案様式3）

自治体SDGsモデル事業名：自然、文化、産業が響き合う 安曇野共生プロジェクト

提案者名：長野県 安曇野市

取組内容の概要：安曇野の里山に市内外から人が集い、里山の資源で稼ぐ、里山で楽しみ学ぶ、里山を保全するといった体験により、あらゆる人が安曇野の里山に携わるきっかけづくりや体制整備を進めていく。そして、安曇野市が目指す「自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野」を実現する大きな一助とする。

経済



産業間連携による所得の向上や新たなビジネス創出により、若者の市内定着や地元回帰や担い手の確保を促進

里山再生や木材利用に関する市民の理解や意識が深まり、木材消費が増大し、新たな製品やサービスが創出される

社会



課題

- ・ 若年層の転出増加
- ・ 共生社会づくりの推進

- ・ 自然保育を通じたこども園体験入園
- ・ ユニバーサルデザインのまちづくり
- ・ アーティスト・イン・レジデンスを通じた交流促進と市内活性化



「里山からつながる 安曇野共生プロジェクト」

- ① 里山プラットフォームとしての「さとぷろ。機構」の構築
- ② 里山や木材を活用した市内産業のイノベーション
- ③ 「里山ワンモアアクション」の推進
- ④ Jクレジットを活用した里山再生活動
- ⑤ 安曇野モデルの木材循環構築

課題

- ・ 田園風景の保全、自然と人の共存

- ・ 「ニホンザル追い払い隊」による野生鳥獣との共存
- ・ きのか廃培地を活用したバイオマス発電等の推進による地域脱炭素化
- ・ 里山再生活動「さとぷろ。」の推進

放置森林の減少、森林のCO₂吸収効果の増加や防災機能、生物多様性の維持

おが粉などの残渣の有効活用や、域外企業との連携や資金獲得

様々な分野の活動から里山再生が行われ、環境保全が図られる

里山を学び場とした環境教育の推進や魅力ある保育・教育の推進につながる



環境

課題

- ・ 新たな観光ニーズへの対応
- ・ 農林業の稼ぐ仕組みの構築

- ・ メタバースを活用した安曇野体験と交流促進
- ・ アドベンチャートラベルの推進
- ・ 東部アウトドア拠点の構築
- ・ 「安曇野わさび産地強化プロジェクトチーム」によるわさびの生産振興

2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名:SDGsでつながる シェアリングソサエティ 江南

提案者名:愛知県江南市

取組内容の概要:これまでの地域協働の仕組みを基礎として、SDGsを活用し、行政・企業・市民等が地域資源や地域課題を共有し合う(シェアリング)ことにより、それぞれの強みを最大限活かしたまちづくり(ソサエティ)を進めることで、経済・社会・環境の三側面の取組の相乗効果を創出し、政策の全体最適化、地域課題解決の加速化を図る。



2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名：『自然との共生(オーガニックビレッジ)』『支え合い(well-being)』『地域ブランドの創造』によるまちづくり

提案者名：奈良県天理市

取組内容の概要：多様な連携による持続可能な「農」のプラットフォームの構築を目指し、大学等との連携により人材育成、産業創出、活躍の場づくりを行う。交流人口、関係人口の創出も図りながら、オーガニックな産品などに新たな付加価値を付け、地域通貨等を活用して流通させることで、経済の活性化につなげる。

経済



社会

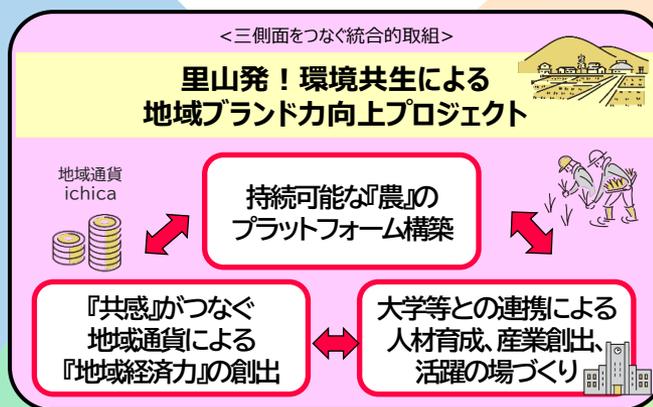


課題：人口減少による経済の縮小

課題：若年層の流出・地域コミュニティの希薄化

- 産官学連携の 観光・農一体による経済の活性化**
- ・【①-1】スマート農業の実現に向けた『チャレンジファーム事業』など、民間企業等との連携による『稼げる農』の創出
 - ・【①-2,3】産官学連携の体験型観光事業推進 (スポーツツーリズム、おてつたび)

- 市民共感型まちづくり (まちの豊かさの創造、well-beingの向上)**
- ・【②-1】AIを活用した新たなデマンド交通サービスの導入
 - ・【②-2】学校の多世代交流拠点としての機能の複合化 (みんなの学校プロジェクト)
 - ・【②-3】食品を通じた支え合いの取組み (※GCF活用のみより親家庭支援、フードドライブ) ※GCF…自治体が行うクラウドファンディング



- 地域資源の活用**
- ・歴史文化・芸術・スポーツなど、天理ならではの魅力ある地域資源
 - ・天理ブランド「めぐみめぐるてんり」

- 大学と連携したまちづくり**
- ・大学と連携した行政施策貢献学生認定制度
 - ・大学と連携した多様な国際連携 (JICA関西との連携、スポーツを通じた国際連携)

課題：里山、農地、環境、生物多様性の保全

- 里山の豊かさの実現**
- 【③-1】有機農業によるオーガニックビレッジの実現
 - ・堆肥を活用した有機農業による豊かな里山づくり
 - ・地産地消による地域内循環の実現 (学校給食への有機農産物の活用、食育等)
 - ・有機農業×生物多様性の調査、研究
 - ・茶畑再生事業 (三年晩茶)
 - ・里山の私塾プロジェクト
 - 【③-2～4】カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの取組みによるゼロ・ウェイスト社会の実現
 - ・官民連携によるカーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの取組み
 - ・全小学校での食品残渣削減プロジェクト (みんなの学校プロジェクト)
 - ・地域での環境保全、生物保護活動

【経済面の相乗効果】
オーガニックビレッジの取組みによる経済の活性化

【社会面の相乗効果】
環境保全活動を契機としたコミュニティの活性化

【環境面の相乗効果】
経済循環による有機農業の振興

【環境面の相乗効果】
多様な連携によるCO2排出量の削減

環境



環境保全

生物多様性



2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名: 日本一の梅の里、「みなべ梅ラーニングcommons」による人・地域・地球の健康増進

提案者名: 和歌山県みなべ町

取組内容の概要: みなべ町は、江戸時代から続く先人の知恵と努力により「日本一の梅の里」をつくり上げ「世界農業遺産」として世界に認められた。担い手が減る中、輝く町民を育成し、町外の応援団と協働し、梅の健康機能を広め、持続可能な梅栽培を実現し、新たな価値「人・地域・地球の健康=ウェルビーイング」を世界に発信する。



経済面の相乗効果①
梅干摂取で町民の健康増進

社会面の相乗効果①
関係人口増による地域収入増加

経済

社会



課題A…梅の健康機能ブランド化

- 取組① 梅の健康効果・効能のさらなる普及とブランド化力強化
- 取組② 梅干し・梅酒の輸出強化(中国)
- 取組③ 梅の剪定枝のバイオ炭によるJクレジット化や環境価値の付加による販売促進
- 取組④ 有機農業の推進や、作業の効率化、スマート化による青年就農者など次世代の担い手育成

統合的な取り組み

輝く人を育成する
「みなべ梅ラーニングcommons」
多世代共創事業

- みなべSDGsプラットフォーム形成
- 梅剪定枝バイオ炭定量化事業
- みなべウェルビーイング指標開発

課題B…町民&応援団の協働

- 取組① 梅健康講座・料理教室
- 取組② 小中高大GIAHS学習プログラムの推進
- 取組③ 梅・バイオ炭を活用した企業CSR、CSVプロジェクト
- 取組④ 「梅ワーケーション」など関係人口・応援団の創出・協働



梅の健康ブランド力、環境価値、後継者育成

教育、健康、関係人口

環境

環境面の相乗効果①
SDGsツーリズム参加者増加

経済面の相乗効果②
企業CSVが増加



課題C…梅剪定枝のバイオ炭化によるCO2削減、環境配慮型梅栽培、生物多様性増進

- 取組① 梅の剪定枝のバイオ炭化によるCO2固定化、資源循環、土壌の生物多様性向上
- 取組② 有機農法など環境保全型梅栽培
- 取組③ 備長炭、ミツバチのための健康な山づくり(植樹)、森川里海のつながり

環境面の相乗効果②
町への誇り・愛着度が向上

社会面の相乗効果②
バイオ炭参加農家増による炭素貯留量の増加

炭素固定・自然共生・資源循環



2024年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名: 観光×教育×環境サステイナブル・ハブ整備事業
～縄文×世界自然遺産プロジェクト～

提案者名: 鹿児島県奄美市

取組内容の概要:

縄文時代の生活様式を今に伝える「宇宿貝塚史跡公園」において、自然・動植物との共存共生による環境に負荷をかけない縄文型生活に「世界自然遺産」を併せ、SDGsの拠点として普及啓発を図りつつ、観光・環境・教育の三側面で相乗効果を生み出す。拠点において、多様な主体との連携した「SDGsプラットフォーム」活動を促進する。



2024年度選定「SDG s 未来都市」に係る今後のスケジュール

